

## 第 1889 回例会報告

令和 7 年 11 月 6 日(木)晴

### ◇会長告知◇会長 小口 直久

皆さん、こんにちは。本日も例会にご参加いただき、ありがとうございます。

いよいよ秋も深まり、街路樹の紅葉が一段と鮮やかになってきました。朝晩の冷え込みも厳しくなり、暖房が恋しい季節となりましたが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

まずは、本日のゲストをご紹介します。

塩尻ロータリークラブより、作田 永子(さくた えいこ)様をお迎えています。作田さんとは、地区プログラムである RLI (ロータリー・リーダーシップ研究会)で一緒に、ロータリーについて多くを学ばせていただきました。その際、作田さんは RLI 委員会の委員長を務めておられ、とても明るく元気で、活発な素敵な方でした。本日は、「ロータリー財団」そして「米山記念奨学事業」について卓話をいただきます。後ほどのお話を、皆さんとともに楽しみにしております。

先週末に開催された、まるまるごみ調査諏訪湖清掃に多くの会員にご参加いただき、ありがとうございました。小中学生 140 名あまりと諏訪湖のごみ回収、回収したごみから感じられたことを子供たちから意見を聞く非常に有意義な事業になったと思います。社会奉仕委員会の皆さんと会員に感謝します。

さて、今月は「ロータリー財団月間」です。ロータリー財団は、私たちの奉仕の思いを世界へと届けるための仕組みです。ポリオ根絶、平和の推進、災害支援、教育支援など、世界中の多様なプロジェクトがこの財団の支援によって成り立っています。私たち諏訪湖ロータリークラブでも、諏訪湖清掃や子どもたちへの教育支援、そしてフィリピン・セブでの音楽交流など、この諏訪地域から国際へとつながる活動を続けています。これらの取り組みの根底には、「奉仕の心を形にする」というロータリー財団の精神が息づいています。また、財団への寄付は単なる支援ではなく、クラブの活動を推進するうえでの貴重な資金源にもなっています。事業を発展させる上でも、財団の存在は欠かせないものです。そして、もう一つの大切な活動が「米山記念奨学事業」です。

これは日本のロータリーが独自に行っている奨学制度で、日本に学びに来た外国人留学生を支援しています。学業の助成だけでなく、人と人との交流を通じて、日本と世界を結ぶ“友情と平和の架け橋”を育てる活動でもあります。これまでに 2 万人を超える奨学生が誕生し、その多くが日本はもとより、世界各地で指導者や教育者として活躍しています。まさに、私たちの寄付が「未来の平和を育てる種まき」となっているのです。

「財団」も「米山」も、どちらも“人を思う心”が原点です。寄付の多い少ないではなく、「誰かのために少しでも役立つ

い」という気持ちこそが、世界を少しずつ変えていく力になります。今月はぜひ、ロータリー財団と米山記念奨学会、この二つの活動に心を寄せてみましょう。

私たちの寄付が、世界の多くの人々の笑顔と希望に変わり、やがて世界が平和に包まれることを信じて。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

### ◇幹事報告◇幹事 成山 秀幸

#### 【連絡事項】

- 11月30日、ホテルメトロポリタン長野及びオンラインにて、「地区職業奉仕セミナー」が開催されます。ご案内を回覧いたしますので、参加される方は事務局へご連絡をお願い致します。
- 先週に引き続き、フィリピン・セブ島地震被災支援義捐金を集めさせていただきます。募金箱を回しますので、ご協力をお願い致します。

#### 【受領文書】

ロータリーの友、バギオ日より、月信11月号、ロータリー財団月間リソースのご案内、私のアクション！未来のNAGANO 創造県民会議 in 諏訪地域のご案内

#### 【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	32人	8人	16,000円
出席対象	29人		
出席者数	18人	前回累計	242,000円
出席率	62.0%	累計	258,000円
前回修正出席数	人	目標額	70万円
前回修正出席率	%	達成率	36.9%



本日は、国際奉仕委員会担当例会です。塩尻ロータリークラブより、作田永子様をお招きして、財団と米山についてお話をお聞きます。お忙しい中、当クラブにお出でいただき、ありがとうございます。お話を楽しみにしております。本日もよろしくお願いいたします。

小口直久 先日の諏訪湖掃除のとき五味委員長が、「ロータリアンはパン食べてはダメ」と言っていたのですが食べてしまいました。インシュリン注射をしているので、糖尿病性昏睡を起こそうになり、飲んで食べました。ごめんなさい。 河西達雄 作田永子さん。本日はお忙しい中ありがとうございます。お話を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。宮坂英貴

ロータリーの友44ページをごらんください。当選しました。 萩田均  
**景品は「ボールペンで口臭チェッカー」でした**



11月27日は、当クラブ主幹の3クラブ合同例会です。ぜひ、多くの皆様のご出席をお願いいたします。(望月勉クラブ奉仕委員長)

## ◇誕生祝い◇

河西達雄会員おめでとうございます  
 「70代最後の年です。新しいことを知りたいという気持ちが少なくなってきましたが、若い人たちに頑張っついて行きたいと思えます。」



## ◇結婚祝い◇

小松孝弘会員  
 「結婚して50年にはなります。毎年、彼女の誕生日と結婚記念日には、お祝いしています。」



望月勉会員「毎年、家族の記念日には、その時のビデオを見る習慣があります。」おめでとうございます

## 【委員会報告】

1日にはまるまるごみ調査にご出席いただき、ありがとうございました。最終的に140名で行ないました。子供達は、諏訪湖についてとても考えていると感じたので、後期も何か計画していきたいと思えます(五味弾社会奉仕委員長)



今月、財団と米山の寄付を集めさせていただきます。ぜひ多くの皆様のご協力をお願いいたします(宮坂英貴国際奉仕委員長)

## ◇例会内容◇

国際奉仕委員会担当  
 塩尻 RC 作田 永子さん

### 「ロータリアンが寄付をするということ」

本日はお招きいただき頂きましてありがとうございます。諏訪湖RCさんにはおそらく10年ほど前にお伺いさせて頂きました。

お久しぶりでございます。その時何を話したか忘れてしまいましたが、下諏訪の「銀月」で例会をしておりました頃のことでした。

今日は、ロータリー財団と米山奨学会のついてお話しよと、小口直久会員からのご依頼で断ることなど到底できずもちろん喜んでお伺いいたしました。

諏訪湖RCさんは、コロナのころいち早くリモート例会を行うなど、活発で士気の高いクラブであると認識しております。そんなクラブさんに釈迦に説法になるやもしれませんが今日はお手柔らかかお願い申し上げます。

さて、私がなぜロータリーの2大寄付システムについてお話をする資格があるとするならばRLIにおいて、ずっとこの財団についてセッションをやってきたからにはほかならないわけで、財団の委員長や委員の皆様を差し置いてお話をすることを、どうぞお許しください。

皆様のお手元に3枚のレジュメを事務局の牛山さんに頼んで用意して頂きました。私がセッションで使っておりますレジュメなので、それを元に今日は諏訪湖RCの皆様が地区内で財団の知識が一番になっていただけるように少しRLI方式を使いながらやっていこうと思っております。

まず、米山奨学生ですが、この中に米山奨学生のカウンセラーを経験した方はおりますでしょうか？

そうなんです、経験された方は、他国とのつながりを実感することが出来るのですが大学との距離が遠いクラブさんはなかなか実感が乏しいし、米山への寄付に積極的な気持ちが持てないということはあると思います。ですが、今日本に限らず世界中が内向きになっている状況において優秀な留学生を育て、日本のみならず世界に貢献するであろう若者を育てていくことはロータリーの使命であり、醍醐味であろうと私は考えます。

ぜひ地区から要請がございましたら、カウンセラーをしてみてください。

財団ですが、少し皆様にお聞きしながら、財団への理解と、寄付することに義務感だけでなく寄付する気持ちに近づくように話を進めていきましょう。

\*これまでに財団に寄付をしたことがある方は挙手してください。

\*R財団と国際Rの違いを理解

\*財団のシェアシステムについて理解

\*諏訪湖クラブさんの地区資金による奉仕活動を具体的に説明を求める。

\*グローバル補助金について理解をするために前例などを聞きながら理解

時間になりましたが、つたない私の話などで申し訳ございませんでしたが、今日はロータリアンとして友情を深めることが目標でした。岡谷の生まれでもございますので、諏訪の気質はわかるつもりであります。快く迎えて頂いたクラブの皆様へ感謝しますと共に貴クラブの益々のご隆盛をおいのりいたしまして閉じさせていただきます。(頂いた原稿のまま掲載しております)

